

日本環境教育学会による第13回世界環境教育会議への参加支援 募集要項

1. 目的・概要

日本環境教育学会会員のうち、若手を中心とする環境教育研究者や、研究機関に所属しない環境教育実践者等が、環境教育研究・実践に関連する国際交流・協働に参加・貢献することを奨励することを目的として、第13回世界環境教育会議(WEEC)への参加経費の一部(参加登録費、渡航費を含む)を支援する。

2. 支援対象者

日本環境教育学会の個人会員(会費を納入していること)。国際会議・学会等への参加費用の捻出が容易でないと考えられる若手研究者や実践者を優先する。

- 「若手研究者」とは、40歳未満の者とする。
- 「実践者」とは、原則として、e-Rad(府省共通研究開発管理システム)による研究者番号を持たない者とする。

支援対象者は、WEECでの研究・実践発表等をおこなう予定であることを原則とする。また、WEECにおいて本学会が実施する企画への参加・協力、帰国後の参加レポートの提出、国際会議報告会(年に一度オンラインでの開催、日程は応相談)での発表をおこなうこととする。

3. 支援対象活動

第13回世界環境教育会議(13th World Environmental Education Congress: WEEC)への参加

日時・場所: 2026年9月21-25日・オーストラリア・パース

ウェブサイト: <https://weec2026.org/>

4. 募集人数 1名

5. 支援額 100,000円 ※4月中旬ごろに指定口座へ振込予定

6. 審査

支援申請に対する審査は、日本環境教育学会国際交流委員会内に設置する審査委員会を設置して行う。審査委員会委員は、国際交流委員会委員長が指名する。

7. 申請受付

申請は、下記のとおり受け付ける。

申請方法: 日本環境教育学会国際交流委員会(int_com@jsfee.jp)へ、申請フォームおよびWEECへ提出済のAbstractを送付

申請〆切: 2026年2月20日(金)

※3月上旬を目途に審査結果を通知する。(WEECによるEarly Bird登録〆切は3月20日(金))

※申請者は、事前にWEECへAbstractを提出すること。本助成受領者として確定した場合は、査読結果を受領次第、報告すること。